

啓伸塾 便り

漢字の「手書き」が大切な理由

2022夏 「フジシロ」Family
京都大学医学部精神神経科助教 大塚貞夫さん の記事より

文章を書く仕事の人でもパソコンで文章を書いていると簡単な漢字でも書けなくなるのがよくあります。足かけ3年になるコロナ禍で、小学校にもデジタル機器の導入が急ピッチで進んで、タブレット端末のデバイスを学習に使う場合が増え、せっかく覚えて漢字が書けないという子供たちが増えたのではないのでしょうか。

文章を書く力(文章作成能力)に、漢字を使いこなす力がどのように影響しているかを調べる実験が京都大学で行われました。

その漢字を使いこなす力を見るために漢字検定の問題を解いてもらいました。漢字検定の問題では、漢字を書く力(書字)・漢字を読む力(読字)・漢字の意味を理解する力(意味理解)を測ることが出来ます。この三つの力が、文章作成能力にどのように影響しているかを調べました。

漢字を読む力と意味を理解する力は、文章を書く力に直接影響はありませんでしたが、漢字を書く力だけが、文章を書く力と関連していたという意外な結果が得られました。

実験では、パソコンを使って文章を書いてもらいました。もちろん文字の変換機能を使うので漢字が書けなくても、それが読めて、意味がわかれば、漢字を使った文章は書けます。

しかし、漢字を書ける能力がある被験者とそうでない被験者とは、作成する文章に大きな差があることがわかりました。

漢字を読む力と意味を理解する力は、文章を書く力に直接影響は与えていませんが、漢字を書く力は、たとえ、デバイスを使って文章を書く場合にも、文章を書く力に大きな影響を与えているということがわかりました。

この研究結果は、漢字を手書きで覚えることの重要性を示すものであり、手書きすることが、高度な言語能力の発達につながっているかもしれないということです。

小学校の時に「漢字ドリル・計算ドリル」の学習、これは将来中学生・高校生で難しくなる勉強の基礎固めになるものです。この学習をおろそかにすると、中学でその遅れを取り戻そうとしても、そう簡単にはいきません。

勉強できる子は、書くことを億劫がりません。特に、算数・数学の文章題では、ほとんど書いて考えを進めて行きます。また、手書きをする場合の指からの刺激は、適度に脳を刺激し、脳の発達を促すともいわれます。

漢字検定の勉強は、読解力に影響を与える文書作成能力を高めるものです。漢字検定の良さを理解していただき、多くの生徒さんが試験に挑まれました。

中学生の皆さん! 中間テストが終わって、もう一度勉強法について考えてみましょう!

今回のテストでは3学年合わせて、5教科で400点以上取った子が何人もいます。その中で450点以上取ってくれた子もいます。その他に、中2・中3では、前回のテストより100点以上、上げてくれた子がいます。

今回の中間テストでは、3学年とも国語の問題で、例年通り作文が出題されました。作文は入試でも必須の問題です。そのため、過去問題と模範解答を付けて、作文で注意することを説明したうえで、作文の宿題を出しました。宿題をやってきた子の作文を添削すると、最初から最後まで句点(。)のない文章を書いたり、話し言葉になっていたり、漢字の間違ひも少なからずありました。しかし、間違いを指摘して細かく添削することが出来ました。そして、宿題をやってきた子のほとんどは、テストでもちゃんと点数をとってくれました。

今回の作文に限らず、宿題をやってこない子は、自宅での学習時間が不足しているのです。よく「自宅では勉強できない」と勉強しない言い訳を自分以外のせいにする子がいますが、このような子は絶対的な勉強量が不足しているため、テストで点数が取れるわけがありません。定期テストは範囲がわかっています。点数を取る努力をしてください。テスト直前の土曜日・日曜日に教室を開けてテスト対策をしていますが、直前の塾での勉強だけでは、点数が取れるはずもありません。自宅でも勉強してください。

また、勉強しているのに点数が取れない子もいます。そのような子は勉強法が間違っているのです。勉強法については、今までもよくこの場でご紹介してきましたが、主な正しくない勉強法を二つ、ここでご紹介します。

① ただ書くだけの自主勉を勉強と思っ、自主勉ノートをカラフルに埋めている子(中学1年生要注意!)
自主勉のノートを埋めることだけ考えて、「問題を解く」ということに頭を使っていない子です。このような子がよく言うことに「ちゃんと勉強しているのにテストで点数が取れない!」です。何も考えずに書いてるので、点数が取れないのは当然です。ちゃんと考えて問題を解く勉強をしましょう。テスト直前にもかかわらず、教科書の文をそのまま映している子がいて、ノートの使い方のアドバイスをしました。

② わからないことをそのままにする子
勉強とはわからないことをわかるようにして、できることを増やすことです。ですから、わからないことをそのままにしているのは勉強になりません。そのような子は、問題文を音読して、その問題がどのような答えを求めているか考えること。ここから始めてください。そしてどうしても、わからなかったら、例題、解説を読んでみる。その上でもう一度考えてみる。それでも、わからなかったら、先生または、聞きやすい誰かに聞いてみる。ここでわかるようになって、それはわかった気がしただけですから、もう一度、自分ひとりで問題を解いてみる。問題が解けない子は、もう一度やってみようという行動が足りないのです。テスト前に保護者の方にメールしましたが、お一人お一人に返却したプリントに大切なコメントを記入しています。それが気を付けるべきことなのです。テストで高得点を取る子は、塾や学校の宿題や自主勉は当たり前で、自分で考え勉強をしています。生まれ持って頭がいいわけではありません。

考えること、そして努力することで、テストで点数が取れるようになります。
間違えた問題を、理解する。そして、解き直して正解にする。つまり★を○にする。

納得できるまで考えることが重要です!

中3生のみなさんへ

中3生のみなさんは、夏休みに、受験に向け夏期講習を実施します。この夏期講習で1、2年の基本事項を復習し、夏休み明けからの入試実践問題演習につなげていきたいと思います。高校受験が成功するかどうかは、この夏にかかっています。また、夜の通常授業では、期末テストの勉強をします。

中1・2年生のみなさんへ

中1、2年のみなさんも、夏休み期間中は、休み明けに行われる期末テストの勉強をします。そのために、午前中は、教室を開ける予定です。(別紙にて後日連絡します。)

今月の予定

塾の夏期休暇 8月10日(水)~16日(火)です。ご予約下さい。

中3生の夏期講習は7月21日(木)から始まります。

夏期講習は上記の休みの期間も行います。

ふみづき
7月(文月)
July

基礎学力を重視する学習塾
啓伸塾
ただ今、新入塾生募集中